

第15 回東日本U15 中学生ラグビーフットボール選抜大会 実施要項（修正案）

1. 目的

関東ラグビーフットボール協会管下17 都道府県のラグビースクール、中学校など全てのカテゴリー

ゴリーに所属する中学生によって編成された都道府県単位、あるいは都道府県を合同した地域単位の選抜チームによるラグビーフットボール大会を実施することによって、以下を達成することを目的とする。

- (1) 東日本地域のジュニアラグビー競技の普及、育成活動の推進。
- (2) 東日本地域の15 才以下のラグビー選手の育成、および競技力の向上。
- (3) 15 才以下の中学生選手のラグビー競技に対する正しい理解と指導者レベルの向上。
- (4) 15 才以下の中学生選手、ジュニアラグビーの地域指導者、及び関係者の融和と交流。
- (5) 中学校ラグビー部とラグビースクール(含むジュニアラグビークラブ)相互の融和。

2. 名称 「第15 回東日本U15 中学生ラグビーフットボール選抜大会」

3. 主催 関東ラグビーフットボール協会（以下「主催協会」とする。）

4. 共催 公益財団法人水戸市スポーツ振興協会

5. 主管 茨城県ラグビーフットボール協会

6. 後援 茨城県教育委員会 公益財団法人茨城県体育協会 水戸市 水戸市教育委員会 水戸市体育協会 茨城新聞社

7. 期日 平成30 年3 月10 日（土）、3 月11 日（日）

8. 会場

【第1 会場】 ケーズデンキスタジアム水戸(メインスタジアム、サブグラウンド2 面使用)

水戸市小吹町2058-1 TEL:029-241-8484

【第2 会場】 ツインフィールド（水戸市立サッカー・ラグビー場）

※ 本年度は人工芝グラウンドのみの使用。水戸市河和田町3438-1 TEL:029-257-6690

9. カテゴリー

カテゴリーは以下の通りとする。

- (1) 男子チーム：男子選手で構成する都道府県等の選抜チームとする。
 - (2) 女子チーム：女子選手で構成する都道府県等の選抜チームとする。
- （原則、男子チームと同要件。詳細は以下参照）

10. 参加チーム

(1) チームの要件

主催協会管下の都道府県協会の事前承諾の後、中学生を管轄する委員会が、当該都道府県に所属するラグビースクール（含むジュニアラグビークラブ）、および中学校の「主

登録選手」を対象にして編成されている都道府県選抜チームとする。

※ チームタイプは、都道府県選抜、あるいは都道府県中学校選抜、都道府県スクール選抜とし、タイプの選択は都道府県協会に委ねる。

※ なお、都道府県単位で選抜チームを編成できない場合は、主催協会の事前承認の下、

複数の都道府県協会で調整の上、当該都道府県合同でチームを編成することができる。

(2) 女子チーム：女子も前項に準拠し、同要件とする。

※ 但し、女子について、都道府県単独女子選抜チームを編成できない場合で、且つ合同

チームの編成調整が難しい場合、大会参加希望の少数の当該女子選手は、当該都道府県協会の管理の下で女子カテゴリーへの参加を登録し、同都道府県の男子チームに女子選手を帯同させ、主催協会にて女子合同チームを編成する。

この場合、女子合同チームの編成は参加確認書にて主催協会で検討し当該都道府県協会に通知する。

(3) B チームの要件：B チームの編成は、当該都道府県協会の現中学2 年生の登録人数が多数の場合に限り認める場合がある。(原則として100 名前後以上)

※ 大会期間中のA チームとB チーム間の選手変更は不可とする。

(4) チーム編成

① チーム：チーム編成は、選手スコッド30 名以内（最低人数15 名）、引率役員は監督1 名、コーチ4 名以内とする。

※ 引率役員の選任は当該協会の事前承認を得ること。内1 名は、当該協会中学生担当役員とする。

※ 同時に登録役員の内、最低1 名は、JRFU 公認資格の育成コーチ以上の資格保持者とするが、本年度は新スタートコーチの資格保有者で可とする。

※ 上記役員の他、チームはセーフティアシスタント1 名（有資格者）を選任することができる。但し、大会参加申込書にて登録が必要。

② 選手登録：試合に出場（ベンチ入り可能）できる選手人数は1 チームにつき選手

22

名以内（最低登録選手数は15 名）とし、試合ごとに選手スコッドの中から試合出場する選手を選出し、メンバー表を本部に提出する。なお、引率役員のベンチ入りは登録役員に限定する。

11. 参加チームの決定

都道府県協会が「大会参加確認書」を提出したチームについて、主催協会が参加希望チーム数、及びチームの参加要件等を確認し、承諾したチームとする。なお、主催協会が承諾したチームには参加申込書などの書類一式を送付する。

※ 男子A チームの他、女子(含む女子選手)、男子B チームなど同都道府県から複数のチ

ームが参加する場合、当該都道府県協会は男子A チームの連絡責任者が一括して申し込みや連絡業務を行う。

12. 選手参加資格

- (1) 選手の参加資格は、(公財)日本ラグビーフットボール協会に個人登録している現中学2年生(平成15(2003)年4月2日～平成16(2004)年4月1日に生れた者)で、主登録チームから推薦をうけた者とする。
- (2) 選手登録人数が少ない為、チーム編成に支障がある場合で、且つ能力が高く、安全性に問題が無いと当該都道府県協会が認める現中学1年生(平成16(2004)年4月2日～平成17(2005)年4月1日に生れた者)の参加については、当該協会から主催協会に書面による事前申請で認める。但し、この場合の当該責任の所在は、申請した都道府県協会とする。
- (3) 参加選手は、保護者の承諾書を提出しなければならない。

13. 競技規則

(公財)日本ラグビーフットボール協会制定の「平成27年度U-15 ジュニアラグビー競技規則」による。同時に同協会「U-15 ジュニアラグビー安全競技基準」「U-15 ジュニアラグビー・中学生選手服装規定」を準拠する。その他、JRFU通知、通達に従う。

※ 但し、全試合とも17分ハーフとする。

14. 組合せと競技方法

- (1) 組み合わせ：組み合わせは、参加チーム決定後、主催協会普及育成委員会で検討の上、決定する。
- (2) 競技方法(予定・参加チーム数が決まった後、決定する。以下は現状案)
 - ① 全試合12人制ジュニアラグビーで実施する。
 - ② 決定した参加チームを男子4グループ、女子1グループに分ける。
 - ③ 1日目、2日目に予選リーグ、又は予選トーナメント等を行う。
 - ④ 2日目に決勝戦、順位戦を行う。但し、女子は1日目、1日目の2日間でリーグ戦
- (3) 順位決定方法

《予選リーグの場合》 勝数の多いチームが上位となる。2チーム以上が同じ勝数の場合、下記の順で順位を決定する。

- ① 総得失点差の多いチーム ② 総得点の多いチーム
- ③ 総トライ数の多いチーム ④ ゴール数の多いチーム
- ⑤ 上記にて決定できない場合は、抽選で上位チームを決定する。

《予選トーナメントの場合》 トーナメント戦において同点の場合、トライ数の多いチームが上位戦へ進出する。但し、トライ数が同じ場合は、抽選で進出チームを決定する。

《優勝戦、順位戦、リーグ戦(女子想定)の場合》

優勝戦、順位戦、リーグ戦で同点の場合、両チーム優勝、あるいは同順位とする。

15. 代表者会議

平成30 年3 月10 日（土）9:00 にK' sデンキスタジアム(第1会場)にて実施する。

16. 開会式

平成30 年3 月10 日（土）9:30 にK' sデンキスタジアム(第1会場)にて実施する。

※ 原則として、出場チームはスコッド全員が参加することとするが、第1 日目の第1 試合のチームは、リザーブ選手を最低5 名出場させることで可とする。

17. 表彰

各グループの優勝、準優勝チームを表彰する。

18. 試合担当者の選出 《新設・注意》

チームは自チームの試合において以下の担当者を選任し、前の試合終了5 分前にはマッチコミッショナー席に申し出る。

- (1) アシスタントレフリー(AR)・1 名：AR は、原則としてチームからレフリー資格者(C 級以上)1 名を選任して自チームの前後の試合を“たすき掛け”で担当する。(但し、原則) なお、本件は参加チームの必須事項とするので事前に要員を確保すること。

※ 《帯同レフリー》 例年通り、帯同レフリー(B 級以上の有資格者)の協力を要請すること

とし、別途、参加申し込みのあったチームに通知する。

- (2) 記録係1 名：チームから選出する記録係りは、役員(中学生以外の競技規則の判る成人)の中から選任し、大会役員の記録責任者の指示に従い、グラウンド役員席にて当該試合を記録する。
- (3) ボールパーソン3名： チームはボールパーソン3名を選手スコッドから選任する。
- (4) 給水係4 名以内： チームは給水係4名以内を、選手スコッドの中から選任する。

19. 健康管理、及び安全対策

- (1) 大会参加にあたっては、各チームにて選手の保護者に問題が無いことを確認し(要保

護者承諾書の提出)、必要な場合は、健康診断を受診させる等、健康管理に留意する。

- (2) 参加選手は、所属チームにおいて(公財)スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」等の障害保険に加入すること。
- (3) セーフティアシスタントは(以下「SA」という)は、試合開始前にマッチコミッショナーにSA 認定証を提示し、SA である旨を申し出て、マッチドクター席に同席しマッチドクターの指示に従うこと。
- (4) 大会中の受傷(傷害)については、現場において応急の医療処置を施すが、以降の医療費、その他の経費はチームの負担とする。
- (5) 参加選手は、保険証を持参し、大会期間中チーム責任者が厳重管理する。

(6) 大会期間中の救急指定病院（予定）

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター 茨城町桜の郷280 TEL:029-240-7711

筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター

茨城県厚生連総合病院水戸協同病院 水戸市宮3-2-7 TEL:029-231-2371

20. 費用

(1) 原則として交通費・宿泊費等の参加費用は、参加チームの負担とするが、交通費については、関東ラグビーフットボール協会の規定に準じ、一部補助金を支給する。

(2) 大会参加費として、役員（含むSA）、選手スコッド1 名につき1,000 円を徴収する。

21. 大会事務局

「関東ラグビーフットボール協会」 メールアドレス： info@rugby.or.jp

住所 〒107-0061 東京都港区北青山2-8-35 TEL:03-3423-4421 FAX:03-3423-4619